

2003年12月8日

株式会社オービックビジネスコンサルタント
株式会社エヌジェーケー

OBCとNJKが基幹業務の情報活用で提携

『ERPとデータ活用ソフトの連携によるトータル・ソリューションを共同展開』

奉行シリーズとDataNatureにより、意思決定をサポートする真のIT活用を実現

株式会社オービックビジネスコンサルタント（ジャスダック 本社：東京都新宿区 代表取締役：和田成史、以下OBC）と、株式会社エヌジェーケー（東証2部 本社：東京都目黒区 代表取締役社長：谷村直志、以下NJK）は、OBCの業務パッケージ「奉行シリーズ」と、NJKのデータ活用ソフト「DataNature（データネチャー）シリーズ」とを積極的に連携させることで合意し、営業支援、販売促進、製品企画などで協業、両社の事業の強化拡大を図ります。

中小企業向けERP導入シェアでNo.1（1）の実績を持つOBCの「奉行シリーズ」と、独自の特許技術で誰もが簡単に使えるNJKのデータ活用ソフト「DataNature」を連携することで、奉行シリーズの基幹システムに蓄積された膨大な情報の中から、経営判断に必要なデータを取り出し、経営者自らがデータを戦略的に活用できるようになります。

これにより、基幹業務の効率化から今後のIT分野で期待されている“経営層の意思決定”まで、より高度な顧客ニーズに対応できる“トータル・ソリューション”をOBCのユーザーに提供することができます。

今回の提携により、NJKは、奉行シリーズの販売管理システム「商奉行21」、仕入・在庫管理システム「蔵奉行21」に対応した、『DataNature for 奉行』を商品化し、OBC経由にて12月12日より発売します。『DataNature for 奉行』には、商・蔵奉行それぞれのデータベースから直接ワンタッチでデータを抽出できて、このデータをクロス集計やグラフで表示したり、ドリルダウンで分析するといったデータの活用を行える情報活用テンプレートが添付されています。

また、カスタマイズを前提とした戦略的総合基幹業務システム「奉行新ERP」に対しては、DataNatureシリーズの「DataNature/E（エンタープライズ）版」で連携を行います。DataNature/Eは、基幹システムとの連携機能を標準で持ち、カスタマイズされたシステムとでも柔軟に連携することができるほか、スケジュール機能により、「奉行新ERP」からのデータ抽出、定型的なアウトプットの更新といった一連の処理を自動化したり、“売上速報”等全社で共有したい情報をインターネット、イントラネットで公開し、情報の

共有を行うといったニーズにも対応します。

OBCとNJKは、両社の商品を連携させた今回のトータル・ソリューションを展示会、セミナー等、共同でプロモーションして行く計画で、『DataNature for 奉行』を年間100セット以上を販売する計画です。

1) ノーク・リサーチ社「2003年民間企業のITパッケージ利用実態調査報告」

価 格

- 『奉行新 ERP』
 - 商奉行 21 新 ERP BroadBand Edition ¥1,040,000 ~
(3 ライセンス版)
 - 蔵奉行 21 新 ERP BroadBand Edition ¥1,040,000 ~
(3 ライセンス版)
- 『DataNature for 奉行』
 - 1 クライアント版 オープンプライス
 - 3 クライアント版 オープンプライス
 - 5 クライアント版 オープンプライス

『DataNature for 奉行』は2000年4月に発売した『商・蔵奉行シリーズ対応版 DataNature3』のバージョンアップで、製品構成はスタンドアロン版『DataNature 4』『DbportSE』と『商奉行 21 用、蔵奉行 21 用テンプレート』が付属します。

- DataNature/E
 - 基本セット(1 サーバー / 同時接続 5 ユーザー・ライセンス) . . . ¥900,000
 - オプション
 - D B アクセス機能(1 サーバー) ¥200,000
 - W e b 出力機能 (1 サーバー) ¥1,000,000

動作環境

- 『奉行新 ERP』

Pentium 以上を搭載した日本語 WindowsXP/2000Professional、WindowsNT4.0 (ServicePack4 以降が必要) または WindowsMe が稼動するコンピュータ (Pentium 500MHz 以上を推奨)
NEC PC-9821・9801 シリーズでの運用はできません。
- 『DataNature for 奉行』

基本ソフトウェア : Windows98 / 2000 / XP / ME / NT4.0 (SP4.0 以上)
本体 (C P U) : 上記基本ソフトウェアが支障なく動作する環境
推 奨 メ モ リ : 128MB 以上 (最低 64MB 以上)
デ ィ ス プ レ イ : 256 色以上、解像度 1,024 x 768 ドット以上
- 『DataNature/E サーバー』

基本ソフトウェア : Windows2000 / X P / NT4.0 (Server または Workstation)

本体（CPU）：上記基本ソフトウェアが支障なく動作する環境
推奨メモリ：256MB以上（最低128MB以上）
ディスプレイ：256色以上、解像度1,024×768ドット以上

本件に関する問合せ先

本件に関する報道各社からのお問い合わせ先

株式会社 オービックビジネスコンサルタント
販売推進本部 担当者：高村 浩之
〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-22-35 西新宿三晃ビル1階
TEL 03-5330-6550 FAX 03-5330-6486 E-Mail pr@obc.co.jp

株式会社エヌジェーケー
経営企画部 担当者：遊 佐 英 彦(ゆさ ひでひこ)
〒153-8641 東京都目黒区中目黒4-8-2 NJKビル
TEL 03-5722-5700 E-Mail yusa-hd@njc.co.jp

（上記連絡先の紙面・WEBへの掲載をご遠慮ください。）

記事掲載時のお問い合わせ及び、弊社製品に関する情報

株式会社 オービックビジネスコンサルタント
〒163-0480 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル43階
TEL 03-3342-1880（代） FAX 03-3342-1874
ホームページ <http://www.obc.co.jp/>

株式会社エヌジェーケー
ソフトウェアパッケージ事業部 営業部 担当者：長島 秀樹
〒153-8641 東京都目黒区中目黒4-8-2 NJKビル
TEL：03-5722-5766 E-MAIL：nagashima-hd@njc.co.jp
ホームページ <http://www.njc.co.jp>

*本文中に記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

参考資料

奉行シリーズについて

株式会社オービックビジネスコンサルタント

設立 昭和55年12月

資本金 105億1,900万円

事業内容 ビジネスソフトウェア開発・販売

通信ネットワーク開発

企業コンサルタント業務

サプライ事業

代表取締役社長 和田 成史

解説

ビジネス用パッケージシステムのベンダーとして知られ、

「奉行シリーズ」として

「勘定奉行」	(財務会計システム)
「人事奉行」	(人事管理システム)
「給与奉行」	(給与計算システム)
「就業奉行」	(就業管理システム)
「商奉行」	(販売管理システム)
「蔵奉行」	(仕入在庫管理システム)
「建設奉行」	(建設業向け財務会計システム)
「償却奉行」	(固定資産管理システム)
「顧客奉行」	(顧客管理システム)
「法定調書奉行」	(法定調書作成システム)
「申告奉行[法人税・地方税編]」	(法人税・地方税申告書作成システム)
「申告奉行[内訳書・概況書編]」	(添付資料内訳書・概況書作成システム)
「申告奉行[所得税編]」	(所得税申告書作成システム)
「OFFICE BANK」	(エレクトロニックバンキングシステム)
「EC奉行」	(ECサイト構築システム)
「BACKUP奉行」	(バックアップシステム)

等を開発・販売している。

奉行シリーズのシリーズ構成は、

「奉行新ERP」	(カスタマイズ対応)	} 『奉行BroadBand Edition』
「奉行LANPACK」	(ネットワーク対応)	
「奉行シリーズ」	(中小企業向け)	

「奉行新ERP」関連特許

○特許第3082083号：カスタマイズ可能なテーブル作成方法

内容

カスタマイズ可能なテーブル作成方法を提供します。すなわち、テーブルの追加や列の追加が自由に行え、それらが行われても提供しているアプリケーションが正常に動作することを保証します。

効果

パッケージソフトウェアをコアにしながらカスタマイズを可能とするため、幅広いユーザに低コストでカスタマイズソリューションを提供することが可能となります。「奉行新ERP」では追加するテーブルや列の命名に規約を設けているため、ユーザがテーブルや列を追加してもその名称から更新処理やデータコピー処理の際に対象としなければな

らないデータであることが判定可能になります。これによりパッケージソフトウェアとカスタマイズされたプログラムがデータの整合性を保って動作することを保証します。

○特許第 3401516 号：追加メニュー機能を有する業務処理装置

内容

業務アプリケーションのメニューバーのメニュー項目は通常、新たなメニューを追加することはできませんが、このメニューの追加を容易に行える方法を提供します。

効果

「奉行新ERP」を利用してカスタマイズされたプログラムを呼び出すために、「奉行新ERP」の標準メニュー画面に追加メニューを追加登録することを可能とする発明になります。これにより、「奉行新ERP」を利用してカスタマイズしたプログラムも同一メニュー画面から選択できることによりユーザにとって利便性が高まることから、製品の差別化が可能となります。

(参考)

OBC オリジナル「Windows ファンクション」

特許第 3015862 号、実用新案登録番号第 3020226 号

ファンクションキーでジョブ切り替えを実現した、OBC 独自のキーボード入力「Windows ファンクション」機能を標準搭載しています。「上段表示」「下段表示」の選択も可能で、キー操作はもちろんのこと、マウスでクリックすることによりツールバー感覚での操作も可能です。

会計伝票の特色であるキーボード入力中心の操作性を Windows で最適化する OBC の技術です。

DataNature (データネチャー) について

株式会社エヌジェーケー

設立 昭和 45 年 4 月

資本金 42 億 2,242 万円

事業内容 ソフトウェア開発事業

OA 機器販売事業

ソフトウェアパッケージ事業

代表取締役社長 谷村直志

データネチャーは、株式会社エヌジェーケーが取得した BUI 特許（操作ボタンの生成、検索および表示に関する一連の特許）を全面的に実用化することで、既存のデータから操作用ボタンを自動生成し、プログラムを一切必要とせずに OLAP 等に代表されるデータ分析の最新機能（スライス&ダイス、ドリルダウン等）をボタン選択だけの簡単な操作で自在に使うことができるようにしたソフトで、エンドユーザーによる本格的なデータ活用を容易にしました。

データネチャーは、1996年5月にバージョン1.0の発売を開始。簡単な操作で多様なデータ活用およびデータ分析を行うことができ、パソコンに熟知していないエンドユーザーでも自動的に生成されたボタンで簡単に操作を行うことができ、分かりやすく使いやすいため、「ソフトウェア・プロダクト・オブ・ザ・イヤー'96」(財団法人ソフトウェア情報センター)を受賞するなど、各方面から高い評価を得ています。

2002年1月に、クライアント/サーバ型の『DataNature/E』(データネチャー エンタープライズ)を発売、3月にはDataNature 新バージョン(V4.0)を発売、また2003年6月にはサーバー機能をLinuxに対応した『DataNature/E Linux Server 対応版』を発売しました。現在約5,000社(ユーザー数は5万5千ユーザー)で使用されています。

DataNatureの軌跡

1996年 5月	『DataNature (Ver1.0)』	発売開始
1996年 10月	「ソフトウェア・プロダクト・オブ・ザ・イヤー'96」受賞 財団法人ソフトウェア情報センター主催(後援:通商産業省、朝日新聞社、日刊工業社)	
1997年 5月	『DataNature2』	発売開始
1998年 4月	『DBport (Ver1.0)』	発売開始
1999年 7月	『DataNature3』、『DBport(Ver.3)』	発売開始
2000年 4月	『商・蔵奉行シリーズ対応版 DataNature3』	発売開始
2000年 12月	『DataNature Lite for Excel』	発売開始
2001年 5月	『DataNature for SymfoWARE Navigator』	発売開始
2001年 6月	『DataNature for iSeries』	発売開始
2001年 8月	『DataNature for Express5800』	発売開始
2002年 1月	『DataNature/E (エンタープライズ)』	発売開始
2002年 3月	『DataNature4』	発売開始
2002年 4月	『DBportSE』、『DBport (Ver.4)』	発売開始
2003年 6月	『DataNature/E』Linux サーバー対応版	発売開始
2003年 11月	『DataNature/E 英語版』	発売開始

BUI(ボタン・ユーザー・インターフェース)特許について

BUI(ボタン・ユーザー・インターフェース)とは、データや情報活用をボタン選択で実現する新しいコンセプトに基づく技術です。

国内取得特許:

- 1997年 10月 特許第2702416号 「データから生成するボタン」
コンピュータ処理用操作ボタンの生成方法及びこのボタンの選択状態記憶方法
- 1997年 10月 特許第2702420号 「自己増殖するボタン」
コンピュータ処理用操作ボタンの自己増殖方法
- 1998年 3月 特許第2760775号 「操作履歴を記憶するボタン」

コンピュータ処理用操作ボタン履歴を記憶し再表示する方法

- 1998年7月 特許第2808539号 「画像や映像を出力するボタン」
コンピュータ処理用操作ボタンのマルチメディア情報による表示方法
- 1998年7月 特許第2808540号 「データ値を診断するボタン」
コンピュータ処理用操作ボタンの自己診断情報表示方法
- 1998年10月 特許第2837810号 「超高速データ識別ボタン」
コンピュータ処理用操作ボタンによるデータ検索方法
- 2000年7月 特許第3091095号 「思考ニーズを支援するボタン」
コンピュータ処理用操作ボタンの自動選出表示方法
- 2002年4月 特許第3320572号 「利用ニーズに適応するボタン」
コンピュータ処理用操作ボタンの最適化表示方法

米国取得特許：

- 1998年10月 Patent Number : 5821926 「上記国内特許をすべて包括」
「METHOD OF GENERATING AN OPERATING BUTTON FOR COMPUTER PROCESING, METHOD OF RETRIEVING DATA WITH THE OPERATING BUTTON AND METHOD OF DISPLAYING THE OPERATING BUTTON」

BUI特許の拡充について

国内特許出願：

- 2000年3月 特願2000-66856
「コンピュータ処理用操作ボタンの生成方法及び該操作ボタンのカスタマイズ方法」
- 2001年2月 特願2001-28109
「ピア・ツー・ピアで情報を共有し活用する方法」
- 2002年7月 特願2002-216735
「コンピュータによる多次元データ処理方法」

以上